

総務経済常任委員会

活動レポート



総務部

●防災について

・担当者への質疑と意見交換を行いました。

委員 協定先を一覧にして見やすく公開する予定は。

担当 地域防災計画資料編86ページに記載しホームページに掲載されています。

委員 内水災害の想定について、水防計画改定にあわせ策定することですが

水防計画の改定予定は。

担当 来年度または再来年度を予定しています。

・中標津町防災会議に関する条例改正案について説明がありました。

委員 女性委員を増やす改正案となっていますが、活動が形骸化しないような運営を考えていますか。

担当 訓練の実効性を高め

るために訓練のあり方を検討していきます。

●ふるさと応援制度推進事業について

令和6年度の寄附状況について暫定値は寄附件数1

万138件、寄附金額は1

億9千484万円と報告がありました。

委員 クラウドファンディング型ふるさと納税の検討状況は。

担当 行政側の事業からクラウドファンディング型ふるさと納税を取り入れ、その後民間事業者から募集を検討します。

委員 産業経済構造調査の結果について報告を受けました。

委員 畜産食料品の影響力が大きいと明らかになりましたが、この部分を伸ばす

具体的な取り組みの計画はありますか。

担当 まだ検討できていません。調査結果を施策立案等に活用したいと思います。

委員 除雪委託料の執行状況および今季の降雪量実績について説明を受けました。

経済部

●産業経済構造調査について

小樽商科大学に委託した

建設水道部

●除雪事業について

降雪量は中標津観測所で昨年比プラス33センチ、根室中標津観測所で昨年比プラス26センチであったと報告がありました。

今後、「経費回収率100%以上を目指す」「運営資金を確保し一時借入金を解消する」等を目標とし、

検証結果を本年度中にまとめ、改正が必要と判断された場合には、令和8年4月から新料金による賦課開始を目標としていることの説明がありました。

●上下水道事業について

下水道使用料の改定に関する検証について説明を受けました。

現状については「老朽化対策費と維持管理費が物価高の影響もあり増加している」「人口減少や節水機能

の向上により使用料収入が減少している」と報告がありました。

今後、「経費回収率100%以上を目指す」「運営資金を確保し一時借入金を解消する」等を目標とし、

検証結果を本年度中にまとめ、改正が必要と判断された場合には、令和8年4月から新料金による賦課開始を目標としていることの説明がありました。

委員会開催 4月16日

6月2日

(武田 開人 議員)

14